

ごみの減量化を進める

御代田町 ごみ事情

ごみの減量化を進めることは、
私たちの生活にとって重要な課題です。

御代田町では、地区の役員さん方をはじめ
町民のみなさん一人一人の分別排出などの努力により、
ごみの減量化について大きな成果をあげています。



平成19年度 ごみの総排出量の概要

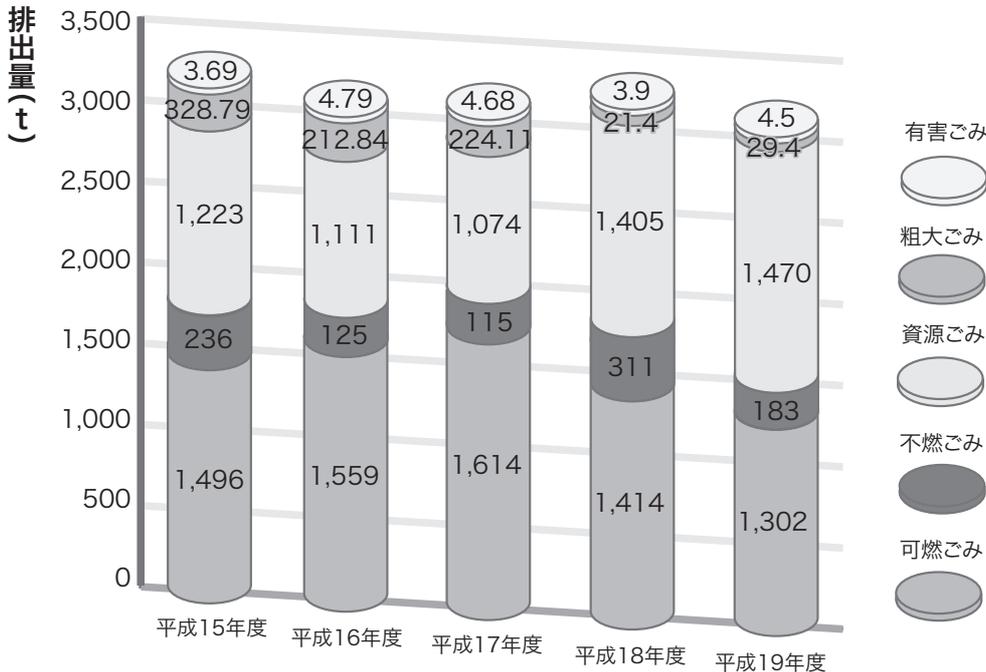
ごみの総排出量は平成17年度、18年度と微増傾向にありましたが、平成19年度中の総排出量は、前年度比5・3%減少し2,989tでした。

区分ごとのごみ排出量では、可燃ごみが前年比7・9%減で1,302t、資源ごみが前年比4・7%増で1,470・2t、その他ごみ(不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ)が、前年比35・6%減で216・5tでした。(表参照)

今後もごみの分別、資源化の努力だけでなく、ものを買う時ごみが出ないように工夫するなど、ごみの減量化への工夫と努力を引き続きお願いします。

問い合わせ先
町民課環境衛生係
(32) 3111 (内線47・74)

御代田町ゴミ排出量の推移



ごみ減らしのポイント

3つのR

ごみを減らすために必要なことが、Reduce(リデュース)減らす、Reuse(リユース)再使用、Recycle(リサイクル)再生利用という、3つのRを実行することです。この3つを実行することが、ごみの減量化に、そして資源を有効利用することに役立ちます。

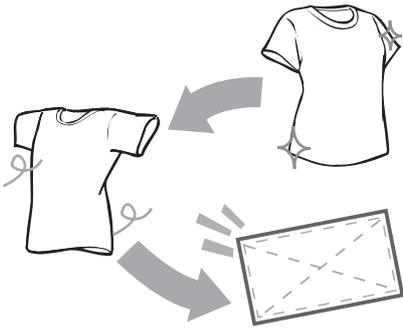
R
Reduce
(リデュース)
減らす

リデュースとは、「減らす・縮小する」という意味。家から出るごみを減らすこともそうですが、それ以前に買わない・持ち込まないこともリデュースです。ムダに買い、腐らせたり使わなかったりして結局ごみにしてしまう。それがごみの増える原因です。皆さんの気持ちを引き締めて、ムダなごみをなくす方法を実践してください。



R
Reuse
(リユース)
再使用

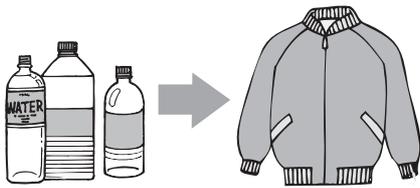
今あるものをできる限り利用する。これがものにも、資源にもやさしい行動なのではないでしょうか。たった一枚のぞうきんでも、元は貴重な資源からつくられたもの。すべてものに愛情をもち、最後まで利用することこそ、資源に対する恩返しなのです。



R
Recycle
(リサイクル)
再生利用

リサイクルとは「不要になったものを原料に戻し、新しい製品として再び使用すること」。かといって、なんでもリサイクルすればいいというものでもありません。リサイクルには費用も、新しい資源も必要です。ですから、リデュースして、リユースして、そして最後にリサイクル。これが正しい方法です。

なお、リサイクルしてできた商品(再生品)をみんなで使うことも、リサイクルの輪をとぎれさせないために大切なことです。



井戸沢最終処分場を
北小学校4年生社会科見学

6月27日に行われました。町担当者から説明があり、処分場にきたことがある人と聞かれると、大勢が手を上げました。自分が捨てたごみが、小さく圧縮して運ばれ、リサイクルされていると知ると驚いていました。

子どもたちの感想では、「ガラスびんが、砂利になる話を聞いてすごいびっくりしました」「ごみで町が埋まってしまうかもしれない…そんな話を聞いてドキッとしました。だから、ごみを減らしたいと思いました」とありました。

この日は、御代田浄化管理センターとイー・ステージ(株)も見学しました。



お盆期間中のごみの収集日程

お盆を含む8月10日(日)から8月16日(土)の収集は次のとおりです。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日	10	11	12	13	14	15	16
収集するごみ種別		生ごみ	プラスチック容器包装	不燃 しなの鉄道より 南側の集積所	生ごみ	休み	休み

15日と16日の収集が休みです